

# キタバ

第32回

## 通信



### 梅雨の湿気対策について この時期、湿気が多いと何が困るのでしょうか？



湿気の被害は意外に多いです。湿気にさらされて対策をとっていない家は腐朽している部分があると震災などの時に強度的に不利になる可能性があります。

さらに洗濯物の室内干しの頻度が高いつまり高湿度のあります。逆に35℃以上になると

【ダニ】：気温が25度前後、湿度が60～80%、そして人のアカやフケなどの栄養素があれば、おとなしかったダニたちが活発になりどんどん繁殖します。多くのダニは温度が20℃以下で活動がぶつてしま

ます。湿氣にさらされて対策をとっていない家は腐朽している部分があると震災などの時に強度的に不利になる可能性があります。

環境（家庭ほど、梅雨時や秋に、喘息やアトピー皮膚炎、鼻炎などのアレルギー症状が出る割合が高いという実験データも出ています。（高湿度によるダニの発生が原因と考えられます。）

と生育できなくなります。また、湿度が55%以下になると死亡率が高くなります。湿気対策をすることと、こまめな掃除がダニ対策の基本です。

【カビ】：カビは温度が20～30℃、湿度が70%前後、それに有機物（人のアカなど）などの栄養素がそろうと繁殖が活発になります。ほとんどのカビは、温度が10度以下になると発育がぶつきます。カビ対策の基本は充分な換気です。晴れた日には部屋の窓を開けるなど、風をよく通すようにしましょう。

ホームページは  
[キタバ薬局](#) [検索](#)

キタバ薬局 薬剤師

森川 淳史